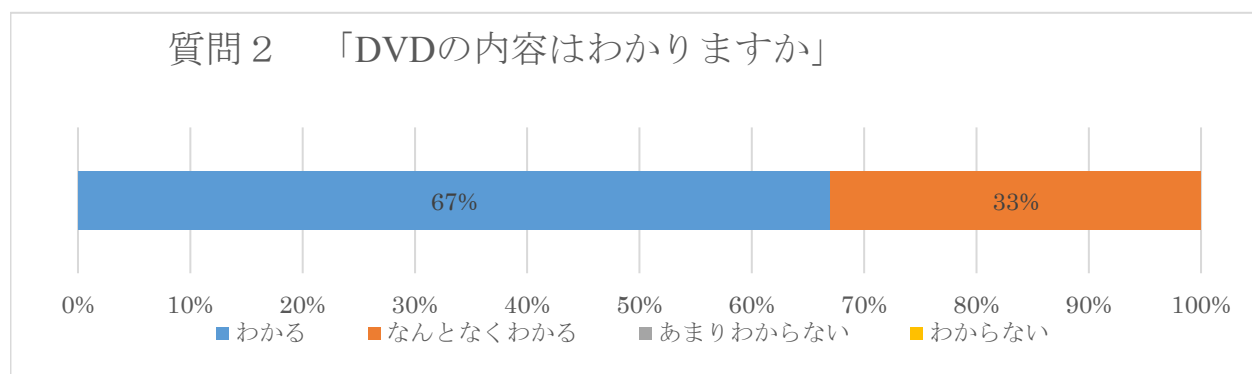
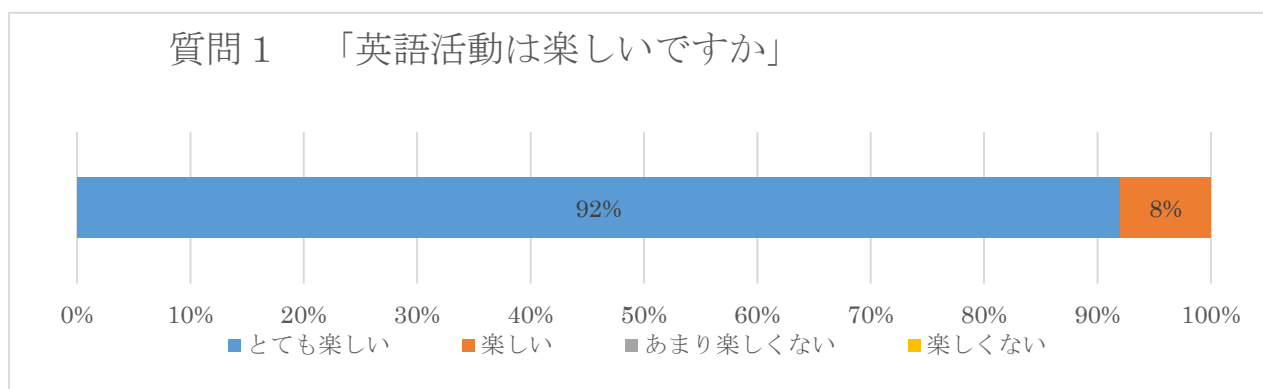


令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

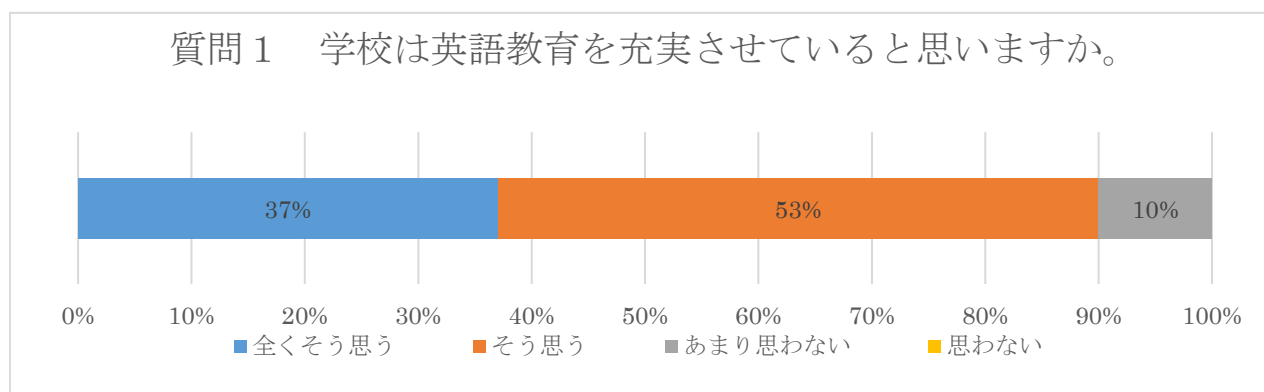
1 自己評価結果

令和7年度の1年生から4年生の児童に、アンケートを行ったところ、質問1「英語の授業や、お昼の英語のDVDをみることは楽しいですか」に対して、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の100%で、昨年度より3%上昇しました。また質問2「DVDの内容はわかりますか。」に対して、「わかる」、「なんとなくわかる」と回答した児童は、全体の100%で、昨年度より17%上昇しました。アンケートの質問1の結果から、多くの児童は毎日の英語活動において、動作化などの体を使った学びを通して、英語に触れる機会が増えることで、英語に対する親しみが増し、英語活動に対して楽しさを感じていることがわかります。そして、アンケートの質問2の結果からは、多くの児童がDVDの内容について理解していることがわかります。教師の補足説明や、DVDをくり返し視聴することで、内容の理解もすすみ、児童にとって英語が身近なものとなり、ネイティブスピーカーの英語に慣れ親しんでいると考えられます。このように、教師がだれ一人取り残さない意識をもって、今後もDVDを視聴する中で、児童の発達段階や実態にあわせて、内容のわかりにくい部分で、補足説明を行うなどの教師支援をさらに工夫し、話の内容の理解をできるようにしたいと考えています。



2 学校関係者評価結果

令和7年度の保護者へのアンケートを行い、質問1「学校は英語教育を充実させていると思いますか」に対して、「全くそう思う」「そう思う」と、全体の90%の保護者の方が回答し、昨年度より5%上昇しています。このことから多くの保護者の方に学校の英語教育への取り組みについて、御理解をいただいています。また、児童の英語活動の様子を見ていただいた学校評議員の方々からは、英語活動に対して、「子供たちがよい発音で話している」「10分という短い時間だが毎日継続してやっているのがよい」「リズムに乗って英語の歌を楽しく歌っている」と好意的な声をいただいております。日々の英語活動によって児童が英語に慣れ親しみ、英語に対する関心を高めていることを評価いただいております。



3 まとめ

児童のアンケートからは、DVDを用いた英語活動を毎日、継続的に積み重ねることで、児童が英語を楽しく学びながら、英語の理解を深めようとしていることが分かります。少しずつですが、基本的な英会話を自然と口にすることができるようになってきました。外国語活動の場面でも、積極的に英語を使ってALTやSTと話したり、ゲームを行ったりする姿が見られます。今後も、「世界の人と英語で話したい」「英語の歌を歌ってみたい」というような、主体的に英語学習を進めることができる児童の育成を目指して、英語活動に力を注いでいきたいと思います。